

WG活動計画概要：観光WG

As-Is

内部環境	Strengths (強み)	<ul style="list-style-type: none">● 北部地域の玄関口として都市機能が集積している（飲食店、コンベンション施設、ホテル等）● 市内全体に自然・伝統文化等の観光資源や観光施設が点在している● 新テーマパーク開業（2025年）や名護湾沿岸開発等に伴い今後も観光地としての魅力度が向上していく
	Weaknesses (弱み)	<ul style="list-style-type: none">● 観光客の滞在時間が短く、素通りされている● 多様な観光客の受入体制が不十分● 持続的な観光への取り組み（JSTS-D対応等）が不十分● 市内各地区の多様な地域資源を活用できていない● 地域（市民・事業者）の観光振興に対する合意形成や周辺市町村との連携体制が不十分（クルーズ船、世界自然遺産等）
外部環境	Opportunities (機会)	<ul style="list-style-type: none">● 航空便数が復活傾向にあり、観光需要が戻りつつある● 本島北部（やんばる地域）の世界自然遺産登録による北部観光全体の需要が高まっている● クルーズ船寄港地としての本部港の存在感が高まりつつある
	Threats (脅威)	<ul style="list-style-type: none">● 県内レンタカーの供給が不足している● 県内の観光人材（ホテル従業員等）が不足している● 急激な観光需要の回復による供給多過（オーバーツーリズム）が懸念される

ToBe

コンセプト

文化・歴史・自然が織りなす沖縄本島北部の玄関口として
観光客と住民が交わる観光交流都市・なご（仮）

名護市の
関連計画で
整理された内容

- ① 自然とまちが融合した魅力あふれる“やんばる観光の拠点・名護”
- ② 海をまるごと堪能できる名護湾沿岸
～海を楽しみ、海を味わい、海を眺め、海で憩う～

※①第2次名護市観光振興基本計画/名護湾沿岸基本構想

目指す状態

名護市全体

- ✓ 近隣市町村と連携が取れ北部の玄関口として機能している状態
- ✓ 持続可能な観光振興及び開発がなされている状態
- ✓ 市民、観光関連事業者、観光関連組織の協働体制が構築されている状態

市民

- ✓ 観光振興により、市民が誇りや豊かさ、住みやすさを実感している状態

観光客

- ✓ 名護市に宿泊し、長く滞在してもらっている状態
- ✓ 外国人、MICE、スポーツといった様々な観光客を受け入れている状態

観光事業者

- ✓ 経営が安定し、雇用が維持されている状態
- ✓ 自然や生活・伝統文化を活用した付加価値の高いメニューが開発されている状態